

『七宗町基礎学力定着支援事業』のあゆみを止めない

七宗町教育委員会

1 はじめに

七宗町は、平成22年度に県教育委員会より「基礎学力定着支援事業」の指定を受け、その指定が終了した後も更に基礎学力の締着を深めたいという願いから、町単独で継続する計画を立て、町内2保育園と小学校2校、中学校2校で実践を積み上げてきた。毎年、小中学校4校から1校、町の指定を受けて公表会を開催している。しかし、今年度は、コロナ禍の授業時間数確保や感染拡大防止の観点から集合型の公表会ではなく、「授業研究会」という規模を縮小した形での実践となった。今できることを実践していくという現場の先生方の熱意から、これまで積み上げてきたあゆみを止めずに実践を進めてきた一端についてまとめる。

2 事業のねらい

- (1) 『すべての児童生徒一人一人に確かな基礎学力を身に付けさせる』ために、町が一丸となって基礎学力定着の研究実践に取り組み、町内の教職員全体の資質向上を図る。
- (2) 基礎学力定着のための三本柱「授業の充実」「学習習慣の定着」「生活習慣の定着」についての積み上げを図り、各校の研究実践の質の向上を目指すとともに、児童生徒の学力向上や豊かな心の育成等に資する。

☆七宗町の4校と教育委員会が、一丸となって組織的に取り組む基礎学力定着のための3本柱

- ①「**授業の充実**」【基礎学力定着プロジェクト委員会中心】
◎平成22年度からの実践を受け継ぐ（裏面参照）
 - KGTカード…上記『KGTカードとは』に合わせて作成・活用
 - 1単位時間完結の授業…45・50分でやりきる授業計画・実施
 - 「本時の基礎学力」が確実に身に付いたことの確認…教師による見届け、指導しきる備え、児童生徒の学びきる備え
 - 板書の構造化・再構築…分ける・整理された板書と授業後の改善
 - 主体的・対話的で深い学びの実現…実感・納得・本音を大事にした学び
 - 1人1全研…「事前研・模擬授業・全校研究授業・授業研究会」の強化・充実
 - 授業研究会<研究課題（視点）を明確にした研究会の工夫・改善>
- ②「**学習習慣の定着**」【教務主任部会中心】
 - 学習のサイクル化…授業を中心とした補充学習・家庭学習サイクル
 - 家庭学習の充実…家庭学習の手引き・家庭学習強化週間
宿題（自主学習）・読書の充実
- ③「**生活習慣の定着**」【養護教諭部会中心】
 - おススメの生活習慣…家庭への啓発（就寝時間・起床時間、メディア時間）
 - 行動補助力カキカト…早寝・早起き・朝ごはん、ノーゲーム・ノーメディア

※保・小・中の発達段階を踏まえた連携を大切に積み上げていく。

3 具体的な研究・実践

研究実践の三本柱である「授業の充実」「学習習慣の定着」「生活習慣の定着」について、ここでは「授業の充実」「生活習慣の定着」についての今年度の実践を述べる。

令和元・2年度に町の研究指定を受けた「神淵中学校」を中心に、各学校の先生方が今年度も「一人一授業実践」に取り組んだ。また、七宗町教育振興会の養護教諭部会を中心に、「すっきりお目覚めプロジェクト」と題し、「生活習慣の定着」に関わる取り組みを行った。

(1) 『神淵中学校授業研究会』の実践

○ 3年生 社会科「地方自治と私たち」の授業実践

「七宗町役場企画課では七宗の魅力のPRに取り組んでいる。今後、どのような情報をどのように発信するとよいか」と、企画課の方から発問をしてもらい、生徒に考える視点を与えた。町の実態と現代社会の特色などから判断したり、小集団で活発に交流したりする姿が見られた。授業の出口では、まとめた考えを企画課の方に直接プレゼンした。社会参画の在り方について考えさせ、主体的な住民参加につながる授業が仕組まれた。



七宗町役場企画課職員（右）との交流

○ 一人1台タブレットによる授業実践

「GIGA スクール構想」として国の補助事業を活用し、今年度、七宗町において「一人1台タブレット」を実現した。授業において資料配付を先生端末から生徒端末へ送信する。その資料をもとに個人追究するときも、タブレットにタッチペンを用いて書き込みながら思考する。

これまでの生徒同士が交流するとき、集まって話していた内容を電子黒板に生徒端末の映像を投影することで新しい交流の仕方を実現した。



(2) 「養護教諭部会」の実践

すっきりお目覚めプロジェクト 養護教諭部会
「早寝・早起き・朝ごはん」「ノーマディアの取組」

生活習慣の定着の実践

○ 「すっきりお目覚めプロジェクト」

学期に一度 家庭学習強化週間と「すっきりお目覚めプロジェクト」と題した児童生徒自ら生活習慣を見直す取り組みを実施している。その結果の分析から改善点を明確にし、リーフレットを作成して小中学校の保護者や校区の保育園、町内の保健師へ配付し実態を共有している。

生活習慣づくり「この時間までには」

【早寝】

- ・小1・2年生は、夜 9 時まで
- ・小3・4年生は、夜 9 時 30 分まで
- ・小5・6年生は、夜 10 時まで
- ・中1・2年生は、夜 11 時まで
- ・中 3 年生は、夜 11 時 30 分まで

※塾や習い事があれば考慮して

【早起き】

- ・朝 6 時 30 分まで
- ※長期休業日等の生活は考慮して

【メディア】

- ・平日のテレビとゲームの合計時間は、1 時間以内に

○ 望ましい生活習慣の定着に向けた本年度の主な活動

- ◇第1回 5月15日(金): 神淵中学校
 - ・本年度の部会テーマ, 研修計画の確認
 - ・新型コロナウイルス感染症対応について
- ◇第2回 7月13日(月): 上麻生小学校
 - ・各学校の取り組みについての交流
 - 第1回目キャンペーン結果と課題
 - ・新型コロナウイルス感染症対応について
 - ・執務交流
- ◇第5回 2月26日(金): 神淵小学校(予定)
 - ・メディアアンケートの結果交流
 - ・今年度のまとめと来年度の方向
 - ・令和3年度リーフレットの作成
 - ・新型コロナウイルス感染症対応について
 - ・執務交流

- ◇第3回 10月16日(金): 神淵中学校
 - ・各学校の取り組みについての交流
 - 第2回目キャンペーン結果と課題
 - ・すっきりお目覚めキャンペーン結果を通して町内の課題を検討
 - ・新型コロナウイルス感染症対応について
 - ・執務交流
- ◇第4回 12月4日(金): 上麻生中学校
 - ・町内の子どもたちの健康について交流
 - 生きがい健康センター・保育園
 - ・小中学校の交流と地域別交流(今年度町保健師さん参加)
 - ・新型コロナウイルス感染症対応について
 - ・執務交流

4 成果 (町の学期末児童生徒アンケート結果より)

16 学校のじゆ業がどのくらいわかりますか。		
① よく分かる	71	83
② だいたい分かる	100	91
③ 分からないことが多い	18	14
④ ほとんど分からない	1	2

1 学期 (左の数値) より①よく分かる 12 人増

7 ふだん(月曜日から金曜日)、どれくらいテレビやゲームをしていますか。		
① 3時間以上	26	19
② 2時間以上、3時間より少ない	30	29
③ 1時間以上、2時間より少ない	60	61
④ 30分以上、1時間より少ない	43	44
⑤ 30分より少ない	20	25
⑥ 全くしない	11	12

1 学期 (左の数値) より① 3 時間以上が 7 人減 ⑤⑥ 合わせて 6 人増

5 今後への取り組み等

○ 「新しい生活様式」が進められている中でも学校教育の中で、生きる力の育成の根幹となるであろう「基礎学力定着」について、ICT 機器の活用とともにさらに実践を積み重ねていきたい。